

地質ニュース

昭和 56 年 6 月

第 322 号

1981

解 説	昭和 56 年度の地質調査所の研究 企画 室... 6 一特別研究など一
	ニュージーランド・トンガリロ 国立公園のナウルホエ火山切手 P. Q... 16
	共水性ガスとその鉱床 (その 7) 福田 理... 17
海外事情	経済地理メモー社会主義国編 資料 室... 30 ③ ハンガリー
	ハンガリーの斑岩銅鉱床 鉱床部鉱物資源課... 32
	千島列島の金属鉱物資源 岸本文男... 34
	フィッショントラック年代測定研究会に出席して 玉生志郎... 47 (1980. 9. 10~12. イタリア ビサ)
	会話型データ処理その 5 自動連続処理でプロットに番号を付けるプログラム 佐藤 俊生... 56 吉井 守正
	宮 古 島 MIYAKO-JIMA 矢崎 清貫... 64 大 山 桂
日 絵	地震予知のための地下水監視システム 東野 徳夫 正 井 義 郎

編 集 地質調査所

表紙の写真

赤銅鉱 秋田県日三市鉱山産 (地質調査所標本 M 4360)

赤銅鉱 (cuprite) は Cu_2O なる化学式を有し、等軸晶系に属する鉱物である。普通塊状粒状土状をなして産出する。深赤色赤黒色を呈し、硬度は 3.5~4、比重は 6.14 である。銅鉱床の酸化帯に二次鉱物として産出する。

日三市 (ひさいち) 鉱山は秋田県仙北郡角館町にあった鉱山である。発見は天正年間 (1573~1591) と云われ、当時は露頭付近の銀鉱を掘った。明治以後は銅、銀、及び時に鉛を採掘出鉱した。大正の初め頃隣接した荒川鉱山の支山のようになり、大正末年頃迄採掘した。日三市鉱山の鉱床は新第三紀の凝灰岩、凝灰角礫岩、頁岩中の脈脈鉱床である。主要な鉱物としては、黄銅鉱、方鉛鉱、閃亜鉛鉱、黄鉄鉱、石英、方解石で、二次鉱物としては、赤銅鉱、孔雀石、珪孔雀石、青鉛鉱、白鉛鉱、硫酸鉛鉱、自然銅を産した。

(文・岡野武夫、写真・正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社